

千葉市水道事業中期経営計画の評価について



令和3年度第1回

千葉市水道事業運営協議会

令和3年8月18日（水）

千葉市水道局

1 中期経営計画の評価について

(1) 中期経営計画の評価

・3つの基本方針（災害に強い「強靱」な水道、安定した「持続」可能な水道、「安全」で安心して利用できる水道）に則り、基本施策を計画的に実行した。

主な基本施策

基本方針	主な基本施策	結果	参照	
強靱	送水管の二系統化	災害などに備えて給水の継続を図るため、大野台送水ポンプ場から平川浄水場への送水管を布設した。	送水管の布設 (990m/990m)	別図 P1
	災害時などの対応力強化	災害などに備えて、関係機関と各種防災訓練を実施し、対応力の強化に努めた。	—	—
持続	水源活用方策の検討	取得した水源（霞ヶ浦開発及び房総導水路）の活用や広域的な連携強化（事業統合や管理の一体化など）について、関係機関と協議を進めたが、実現に至らなかった。	—	—
	広域的な連携強化の検討			
	千葉市水道事業長期施設整備計画の策定	水道事業を維持するため、施設の更新整備にかかる費用の低減を図る計画として、長期施設整備計画を令和元年度に策定した。	—	—
	平川浄水場の設備更新他	設備の経過年数が最も長い平川浄水場について、機械・電気設備の更新を行った。	機械・電気設備の更新 (16台/16台)	別図 P2
	料金体系の調査・研究	長期施設整備計画推計値による検討の結果、必要となる料金収入は県営水道の1.6倍程度となったが、市民負担の公平性を確保するため、県営水道と同一の料金体系を維持している。	—	—
	企業債残高の縮減	発行額（事業費）の抑制などにより、計画時よりも3億円の縮減となった。	計画164億円 → 実績161億円	別図 P3
安全	「水安全計画」の更新	安心して美味しく飲める水道水を安定供給するため、水源から給水栓（蛇口）に至る水質管理について定めた計画で、随時更新し適切に運用した。	—	—
	未普及地域の配水管整備	市民の生活環境の改善や公衆衛生の向上を図るため、給水要望のあった地域について、要望どおりに配水管を布設した。	配水管の布設 (4,393m/5,740m)	別図 P4～6
	一般会計繰入金	4億円の繰入金縮減となり、収支計画の範囲内での繰入れを達成した。	計画74億円 → 実績70億円	別図 P7